



# 日刊労働千葉

国鉄千葉労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(労働組合館)

電話 (鉄道) 千葉 2935-2936番

(公) 千葉 (22) 7207番

91.6.25 No. 3416

# 派兵反対が都内行進で 都心に戦争NO!の声響きわたる!



防衛庁に向けた怒りのデモで、  
1800人の最先頭に立つ運営委員

(左より、水野、佐藤、中野、長谷川、中田の名氏)

全国から一八〇〇結集

7月PKO法案の  
国会上程を許すな

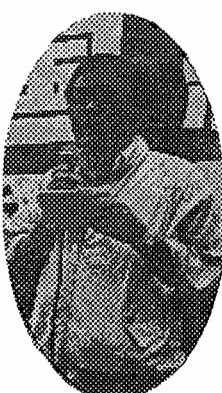
六月二三日正午から、東京・明治公園において、「自衛隊の海外派兵反対、PKO法案の国会上程を許すな」全国総決起集会が、全国から一八〇〇名の仲間を結集し開催された。

集会終了後には、防衛庁に対する怒りのデモを闘い抜いた。反戦共同行動委員会は、中野洋・佐藤芳夫・小西誠(反戦自衛官)三氏の呼びかけによって、労働者

のままではいけない、という危機感・怒りを結集し反戦共同行動委員会の闘いはいよいよ開始された。

かっては広範な反戦闘争を組織した総評センターが、自衛隊派兵強行・改憲という恐るべき情勢にもかかわらず、「自衛隊容認」をうちだすという状況のなかで、こ

方側も階級の闘争に  
力をこめて (中野委員長基調報告要旨)



民営化と連合の結成をひとつの焦点とした「戦後政治の総決算」攻撃は、そのしあげとして既成野党の翼賛化という異様な状況をつくりあげようとしている。

民主党独裁政治の貫徹は、徴兵制へと結びつくものである。

二一世紀の未来へ向けて断固とした闘いを組織しなければならない。労働者が反戦を闘える労働運動を構築しよう!

七月の臨時国会では、PKO協力法案・小選挙区制・自衛隊法改悪が強行されようとしている。われわれは改憲という大変な事態に直面している。財界・マスコミ・連合労組・野党は総屈服し、これを推進する方向へと動きだした。われわれは反戦のデモ・運動が皆無に近いという現実に愕然たる思いで状況を突破しなければならない。PKO関連法案はカンボジア派兵へと直結している。

一月一七日からのアメリカを中心とした中東侵略戦争の貫徹力が状況を一変させた。国連中心主義・国際協力の名の下、暗黒の政治理想を明らかにした。総評センターも容認を決定した。国鉄分割・

社会党改革案は立党の精神をす

て、安保・自衛隊を容認していく

ことを明らかにした。総評センタ

ーも容認を決定した。

反戦共同委員会の闘いを全国に

創りあげよう。